

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号  
特許第7703461号  
(P7703461)

(45)発行日 令和7年7月7日(2025.7.7)

(24)登録日 令和7年6月27日(2025.6.27)

(51)国際特許分類 F I  
 B 6 0 J 3/02 (2006.01) B 6 0 J 3/02 B  
 B 6 0 J 3/02 N

請求項の数 3 (全10頁)

(21)出願番号	特願2022-5733(P2022-5733)	(73)特許権者	599041329 共和産業株式会社 愛知県豊田市衣ヶ原3丁目1番地
(22)出願日	令和4年1月18日(2022.1.18)	(74)代理人	110000394 弁理士法人岡田国際特許事務所
(65)公開番号	特開2023-104620(P2023-104620 A)	(72)発明者	鈴木 浩元 愛知県豊田市衣ヶ原3丁目1番地 共和 産業株式会社内
(43)公開日	令和5年7月28日(2023.7.28)	(72)発明者	石倉 邦彦 愛知県豊田市衣ヶ原3丁目1番地 共和 産業株式会社内
審査請求日	令和6年10月3日(2024.10.3)	(72)発明者	深津 剛 愛知県豊田市衣ヶ原3丁目1番地 共和 産業株式会社内
		審査官	上谷 公治

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 車両用サンバイザユニット

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両用サンバイザユニットであって、  
 板状のバイザ本体と、  
 前記バイザ本体の上端に沿って設けられて前記バイザ本体を上下方向に回動可能に支持する支軸と、

前記支軸の端部が装着される板状のガーニッシュと、  
 前記ガーニッシュの上面に配索されるワイヤーハーネスと、  
 前記ワイヤーハーネスに接続されかつ前記ガーニッシュに設けられる電気部品、または  
 /および前記支軸を通った通電部材に接続されかつ前記バイザ本体に設けられた電気部品  
 を有し、

前記ガーニッシュがヘッドライニングの下面を覆うように車両天井に取り付けられ、かつ前記ガーニッシュの左右一端部が前記車両天井に設けられるセンターコンソールに下方から覆われ、前記ワイヤーハーネスの端部が前記センターコンソールの上方において前記車両天井に配索された電源線と接続される車両用サンバイザユニット。

【請求項2】

請求項1に記載の車両用サンバイザユニットであって、  
 前記バイザ本体の前記支軸の前記端部とは逆側には、前記支軸の延長線上に延びるサポート軸が設けられ、

前記ガーニッシュは、前記サポート軸が脱着可能に掛け止められるフックを有する車両

用サンバイザユニット。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の車両用サンバイザユニットであって、

前記ガーニッシュの上面には、前記ワイヤーハーネスと電氣的に接続される照明具が設けられ、

前記照明具は、前記ガーニッシュに設けられた窓を通して乗員に向けて光を発するように配向されている車両用サンバイザユニット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、車両用サンバイザユニットに関する。

【背景技術】

【0002】

特許文献 1 には、自動車の天井基材の下面に取り付けられるパネルと、パネルとともに天井基材に取り付けられるサンバイザが開示されている。パネルには、ランプ及びランプを ON / OFF させるスイッチ等の電気部品が設けられている。これら電気部品は、天井基材の上面に配置された ECU と電氣的に接続される。具体的には、ECU から延びるワイヤーハーネスを天井基材に設けられた貫通孔を通し、ワイヤーハーネスの先端に設けられたコネクタと電気部品と接続する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【文献】特許 4003497 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかし ECU から延びるワイヤーハーネスを天井基材の貫通孔に通すことは容易でない。電気部品と電氣的に接続されたワイヤーハーネスを隠すようにパネルを天井基材に組み付けることも容易でない。しかもサンバイザを天井基材に組み付ける際にもサンバイザ内の電気部品をワイヤーハーネスと電氣的に接続する必要がある場合もある。そのため車両天井に容易に組付けられるサンバイザユニットが従来必要とされている。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本開示の 1 つの特徴によると、車両用サンバイザユニットは、板状のバイザ本体を有する。バイザ本体を上下方向に回動可能に支持する支軸がバイザ本体の上端に沿って設けられる。支軸の端部が板状のガーニッシュに装着される。ワイヤーハーネスがガーニッシュの上面に配索される。電気部品がワイヤーハーネスに接続されかつガーニッシュに設けられる、または / および電気部品が支軸を通った通電部材に接続されかつバイザ本体に設けられる。ガーニッシュがヘッドライニングの下面を覆うように車両天井に取り付けられる。ガーニッシュの左右一端部は車両天井に設けられるセンターコンソールに下方から覆われる。ワイヤーハーネスの端部がセンターコンソールの上方において車両天井に配索された電源線と接続される。

【0006】

したがって車両天井に取り付ける前に、バイザ本体とガーニッシュを互いに組付けることができる。しかもガーニッシュの上面に配索されたワイヤーハーネスとガーニッシュまたは / およびバイザ本体に設けられた電気部品とを電氣的に接続できる。ユニット状態でガーニッシュが車両天井に取り付けられる。その後、ワイヤーハーネスの端部を車両天井から延びる電源線に接続できる。ワイヤーハーネスの端部と電源線は、後から取り付けられるセンターコンソールによって覆われる。そのため電源線は、ヘッドライニングの小さな貫通孔を通すことなく、車両荷室に露出される。ワイヤーハーネスの端部と電源線は、

10

20

30

40

50

センターコンソールによって下方から覆われる。したがって容易にサンバイザユニットを車両天井に見栄え良く取り付けすることができる。

【 0 0 0 7 】

他の1つの特徴によると、バイザ本体の支軸の端部とは逆側には、支軸の延長線上に延びるサポート軸が設けられる。ガーニッシュは、サポート軸が脱着可能に掛け止められるフックを有する。したがってフックは、バイザ本体およびガーニッシュとともに車両天井に取り付けられる。そのためフックは、バイザ本体のサポート軸に対して簡易かつ正確に位置決めできる。

【 0 0 0 8 】

他の1つの特徴によると、ガーニッシュの上面には、ワイヤーハーネスと電氣的に接続される照明具が設けられる。照明具は、ガーニッシュに設けられた窓を通して乗員に向けて光を発するように配向されている。したがって照明具をガーニッシュの上面に見栄え良く設けつつ乗員を適切に照らすことができる。

10

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 0 9 】

【 図 1 】 車両天井に取り付けられたサンバイザユニットの正面図である。

【 図 2 】 格納位置に回転させた状態のバイザ本体の正面図である。

【 図 3 】 図 2 の I I I - I I I 線断面図である。

【 図 4 】 図 1 の I V - I V 線断面図である。

【 図 5 】 図 1 の分解図である。

20

【 図 6 】 図 5 を上側から見た斜視図である。

【 図 7 】 バイザ本体とガーニッシュの分解図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 0 】

図 1 に示すようにサンバイザユニット 1 は、ガーニッシュ 3 と、ガーニッシュ 3 に支軸 4 を介して取付けられたバイザ本体 2 を有する。ガーニッシュ 3 は、車両天井 3 0 の下面に張り付けられたヘッドライニング 3 1 の下面に装着される（図 3 参照）。これによりバイザ本体 2 がガーニッシュ 3 とともにヘッドライニング 3 1 に組み付けられる。バイザ本体 2 は、外部に露出される意匠面を成す表皮レス構造とされる。

【 0 0 1 1 】

30

図 1、7 に示すようにバイザ本体 2 は略矩形状の板状である。バイザ本体 2 は、表面右側にミラーユニット 1 1 を有する。ミラーユニット 1 1 は、図 4 に示すように、バイザ本体 2 に取り付けられる略矩形棒状のミラー棒 1 1 a と、ミラー棒 1 1 a に取り付けられたミラー 1 1 c を有する。ミラー棒 1 1 a には、ミラー 1 1 c を覆う閉じ位置と、ミラー 1 1 c を露出させる開き位置との間でスライド可能にミラーリッド 1 1 b が取り付けられる。

【 0 0 1 2 】

図 7 に示すようにバイザ本体 2 は、上縁左領域から下方に凹んだ凹部 2 a が形成される。凹部 2 a にサポート軸 6 が設けられる。サポート軸 6 は、バイザ本体 2 の上縁に沿って凹部 2 a に跨って延びる。バイザ本体 2 の上縁右部に右方向に開口する差込孔 2 b が設けられる。差込孔 2 b に左方から支軸 4 の横軸 4 a が挿入される。

40

【 0 0 1 3 】

図 7 に示すように支軸 4 は、略 L 字状の丸棒であり、横軸 4 a と縦軸 4 b とを有する。バイザ本体 2 に挿入された横軸 4 a はサポート軸 6 と略同軸状に設けられる。縦軸 4 b は、横軸 4 a の右端から横軸 4 a に対して略直交して延出している。支軸 4 の横軸 4 a の先端とバイザ本体 2 の間には、バイザ本体 2 の回転によって ON・OFF 操作されるスイッチ 1 2 が設けられる。

【 0 0 1 4 】

図 1、7 に示すようにガーニッシュ 3 は、左右方向に延びる長尺な板状部材である。ガーニッシュ 3 は、PP 等の樹脂がインジェクション成形されて成る。ガーニッシュ 3 は、バイザ本体 2 が装着される支軸支持部 2 1 と、ホルダ 7 とを有する。

50

## 【 0 0 1 5 】

支軸支持部 2 1 は、図 6、7 に示すように、ガーニッシュ 3 の右端近傍に配置されている。支軸支持部 2 1 は、ガーニッシュ 3 を貫通する貫通孔 2 1 a と、ガーニッシュ 3 の上面から上方に略矩形棒状に張り出すブラケット支持部 2 1 b とを有する。ブラケット支持部 2 1 b の左右の両辺には、内側に張り出す爪 2 1 c がそれぞれ形成されている。支軸 4 の縦軸 4 b にはブラケット 5 が装着される。縦軸 4 b の上部はブラケット 5 の取付孔 5 b の孔縁に設けられた取付爪 5 a に係止される。支軸 4 は貫通孔 2 1 a に上方から差し込まれる。支軸 4 が貫通孔 2 1 a を通ってガーニッシュ 3 の下方に伸び出したあとで、ブラケット 5 がブラケット支持部 2 1 b に上方から装着される。ブラケット 5 が各爪 2 1 c によりブラケット支持部 2 1 b に固定される。ガーニッシュ 3 の下方に伸び出した支軸 4 の横軸 4 a にバイザ本体 2 が組み付けられる。これによりバイザ本体 2 がガーニッシュ 3 に装着される。

10

## 【 0 0 1 6 】

ホルダ 7 は、図 6、7 に示すようにサポート軸 6 を脱着可能に保持するフック 7 a を有する。フック 7 a の上端には、上方に伸びる軸状の車体取付部 7 b が設けられる。ガーニッシュ 3 の中央より左側にホルダ支持部 2 2 が配置されている。ホルダ支持部 2 2 は、ガーニッシュ 3 を面直方向に貫通するホルダ挿入孔 2 2 a を有する。ホルダ挿入孔 2 2 a に下方からホルダ 7 の車体取付部 7 b が挿入される。ホルダ支持部 2 2 は、ホルダ挿入孔 2 2 a の周縁から張り出す爪 2 2 b を有する。爪 2 2 b がホルダ 7 の車体取付部 7 b に係止する。

20

## 【 0 0 1 7 】

図 5 に示すようにサポート軸 6 がホルダ 7 のフック 7 a に下方から掛け止められる。これによりバイザ本体 2 の上縁の左部がガーニッシュ 3 に支持される。支軸 4 とサポート軸 6 により、バイザ本体 2 の上縁左右部がガーニッシュ 3 に支持される。

## 【 0 0 1 8 】

図 6 に示すようにガーニッシュ 3 の上面には、電気部品の 1 つである照明具 2 3 が一体に設けられる。照明具 2 3 は、ガーニッシュ 3 の上面から張り出す。照明具 2 3 は、バイザ本体 2 のミラーユニット 1 1 と左右方向の配置が重なるように設けられる。照明具 2 3 は、支軸 4 に挿通された不図示の通電部材、例えばワイヤーハーネスを介して、バイザ本体 2 のスイッチ 1 2 と電氣的に接続されている。

30

## 【 0 0 1 9 】

図 4 に示すようにガーニッシュ 3 には、略矩形の窓 2 4 を有する斜面 2 8 が形成される。斜面 2 8 は、照明具 2 3 の下方に位置し、照明具 2 3 と乗員とを結んだ線分に略直交するように配置される。照明具 2 3 から照射された光は、カバー 2 4 を貫通して乗員に向かって照射される。

## 【 0 0 2 0 】

図 6 に示すようにガーニッシュ 3 の上面には、ワイヤーハーネス 2 5 が配索される。ワイヤーハーネス 2 5 は、照明具 2 3 から左方に向かって伸びる。ワイヤーハーネス 2 5 の基端側は、ワイヤーハーネスカバー 2 6 により上方から覆われて保護される。ワイヤーハーネス 2 5 の先端にはコネクタ 2 5 a が設けられる。

40

## 【 0 0 2 1 】

図 6 に示すようにガーニッシュ 3 の上面には、複数の車体取付部 2 7 が設けられる。車体取付部 2 7 は、例えばガーニッシュ 3 の中央領域と右領域に形成される。車体取付部 2 7 は、略 C 字状部材である。図 5 に示すように下方に張り出す各ピン 3 1 c を有する。各ピン 3 1 c は下部にフランジを備える。各ピン 3 1 c にガーニッシュ 3 の各車体取付部 2 7 の C 字開口が左下方から引っ掛けられる。ヘッドライニング 3 1 には、孔状のブラケット取付部 3 1 a と孔状のホルダ取付部 3 1 b が形成されている。ホルダ取付部 3 1 b にガーニッシュ 3 の車体取付部 7 b が下方から挿入される。車体取付部 7 b がホルダ取付部 3 1 b を通って車両天井 3 0 に固定される。ブラケット 5 がブラケット取付部 3 1 a に嵌り込んで車両天井 3 0 に固定される。これによりガーニッシュ 3 がヘッドライニング 3 1 を

50

挟んで車両天井 30 に装着される。

【 0 0 2 2 】

図 1 に示すようにセンターコンソール 32 が下方からヘッドライニング 31 の下面に装着される。センターコンソール 32 は、ガーニッシュ 3 の左部のオーバーラップ部 3 a を下方から覆う。これによりガーニッシュ 3 を見栄え良くヘッドライニング 31 に装着することができる。また、オーバーラップ部 3 a が車幅の長さの違いを吸収することで、車幅の異なる自動車に対してもガーニッシュ 3 を見栄え良く装着することができる。

【 0 0 2 3 】

図 5 に示すようにワイヤーハーネス 25 のコネクタ 25 a は、オーバーラップ部 3 a まで伸び出している。それにより、車両天井 30 のヘッドライニング 31 に覆われない部分までワイヤーハーネス 25 を引き出して電源線 33 のコネクタ 33 a と簡便に接続させることができる。上記のようにワイヤーハーネス 25 は、ガーニッシュ 3 がヘッドライニング 31 に取り付けられる前に照明具 23 及びスイッチ 12 と電氣的に接続されている。そのため、ワイヤーハーネス 25 と電源線 33 とを接続するだけで、簡便に照明具 23 に電力を供給することができる。そしてワイヤーハーネス 25 と電源線 33 との互いに接続された各コネクタ 25 a、33 a が、センターコンソール 32 により下方から覆われる。そのため、サンバイザユニット 1 を見栄え良く車両天井 30 に取り付けることができる。

【 0 0 2 4 】

図 1 に示すようにヘッドライニング 31 に装着されたバイザ本体 2 は横軸 4 a まわりに回動できる。この回動によって図 3 に示すようにバイザ本体 2 は、図 1 に示すフロントガラス F に対向して配置される使用位置 P と、ガーニッシュ 3 に沿って配置される格納位置 K とに切り替えられる。またこの切り替えに伴い、スイッチ 12 が ON / OFF を切り替えられるようになっている。なお、フック 7 a がサポート軸 6 を支持することで、支軸 4 に負荷を集中させることなくバイザ本体 2 が適切に回転できるようになっている。

【 0 0 2 5 】

また、バイザ本体 2 はガーニッシュ 3 に対して縦軸 4 b まわりにも回動できる。この回動によりバイザ本体 2 は、自動車のサイドガラス（不図示）と対向する位置まで移動できるようになっている。なお、サポート軸 6 がフック 7 a から取り外されることで、バイザ本体 2 の縦軸 4 b まわりの回転を阻害しないようになっている。

【 0 0 2 6 】

上述するように図 1 に示す車両用サンバイザユニット 1 は、板状のバイザ本体 2 を有する。バイザ本体 2 を上下方向に回動可能に支持する支軸 4 がバイザ本体 2 の上端に沿って設けられる。支軸 4 の端部が板状のガーニッシュ 3 に装着される。図 6 に示すようにワイヤーハーネス 25 がガーニッシュ 3 の上面に配索される。電気部品 23 がワイヤーハーネス 25 に接続されかつガーニッシュ 3 に設けられる。図 5 に示すようにガーニッシュ 3 がヘッドライニング 31 の下面を覆うように車両天井 30 に取り付けられる。ガーニッシュ 3 の左部のオーバーラップ部 3 a は車両天井に設けられるセンターコンソール 32 に下方から覆われる。ワイヤーハーネス 25 のコネクタ 25 a がセンターコンソール 32 の上方において車両天井 30 に配索された電源線 33 と接続される。

【 0 0 2 7 】

したがって図 5、6 に示すように車両天井 30 に取り付けの前に、バイザ本体 2 とガーニッシュ 3 を互いに組付けることができる。しかもガーニッシュ 3 の上面に配索されたワイヤーハーネス 25 とガーニッシュ 3 に設けられた電気部品 23 とを電氣的に接続し、かつバイザ本体 2 に設けられたスイッチ 12 とも電氣的に接続できる。ユニット状態でガーニッシュ 3 が車両天井 30 に取り付けられる。その後、ワイヤーハーネス 25 のコネクタ 25 a を車両天井 30 から延びる電源線 33 に接続できる。ワイヤーハーネス 25 のコネクタ 25 a と電源線 33 は、後から取り付けられるセンターコンソール 32 によって覆われる。そのため電源線 33 は、ヘッドライニングの小さな貫通孔を通すことなく、車両荷室に露出される。ワイヤーハーネス 25 のコネクタ 25 a と電源線 33 は、センターコンソール 32 によって下方から覆われる。したがって容易にサンバイザユニット 1 を車両天

10

20

30

40

50

井 30 に見栄え良く取り付けることができる。

【0028】

また図 5 に示すようにバイザ本体 2 の支軸 4 の端部とは逆側には、支軸 4 の延長線上に延びるサポート軸 6 が設けられる。ガーニッシュ 3 は、サポート軸 6 が脱着可能に掛け止められるフック 7 a を有する。したがってフック 7 a は、バイザ本体 2 およびガーニッシュ 3 とともに車両天井 30 に取り付けられる。そのためフック 7 a は、バイザ本体 2 のサポート軸 6 に対して簡易かつ正確に位置決めできる。

【0029】

また図 4 に示すようにガーニッシュ 3 の上面には、ワイヤーハーネス 25 と電氣的に接続される照明具 23 が設けられる。照明具 23 は、ガーニッシュ 3 に設けられた窓 24 を通して乗員に向けて光を発するように配向されている。したがって照明具 23 をガーニッシュ 3 の上面に見栄え良く設けつつ乗員を適切に照らすことができる。

10

【0030】

本開示の形態を上記構造を参照して説明したが、本開示の目的を逸脱せずに多くの交代、改良、変更が可能であることは当業者であれば明らかである。したがって本発明の形態は、添付された請求項の精神と目的を逸脱しない全ての交代、改良、変更を含み得る。例えば本開示の形態は、前記特別な構造に限定されず、下記のように変更が可能である。

【0031】

別の実施形態として、車両用サンバイザユニットは、基本構造が本開示のサンバイザユニット 1 と左右対称となる形で、車両天井の左側に取り付けられても良い。別の実施形態として、バイザ本体は、サポート軸を有しない構成であっても良い。またバイザ本体は、実施例として外部に露出する表皮レスの構成を示したが、表皮を有する構成であっても良い。別の実施形態として、支軸は、ブラケットを介さずガーニッシュに直接装着されても良い。別の実施形態として、ホルダは、ガーニッシュと一体成形されても良い。ミラーユニットは、バイザ本体の表面において自由に配置されてよい。

20

【0032】

ガーニッシュは、ビス等の固定具によりヘッドライニングに組み付けられる構成であっても良い。

【0033】

電気部品は照明具 23 の他、別の実施形態として、支軸 4 を通った通電部材に接続されかつバイザ本体 2 に設けられるスイッチ 12 を指すものであっても良い。電気部品は、その他、ワイヤーハーネスと電氣的に接続可能なガーニッシュまたは / およびバイザ本体に設けられる構成であれば、どのようなものであっても良い。通電部材はワイヤーハーネスの他、筒状又は軸状の鉄芯や金属板等の導電性を有する部材であっても良い。照明具は、一体成形でなく、成形されたガーニッシュの上面に後付けされるものでも良い。照明具やワイヤーハーネスは、ガーニッシュの上面において自由に配置されて良い。照明具はバイザ本体に設けられる構成であっても良い。スイッチはガーニッシュに設けられる構成であっても良い。その場合でもスイッチはバイザ本体の回動により ON / OFF される構成であることが望ましく、例えばバイザ本体との接触非接触やセンサによるバイザ本体の検知によって切り替えられる構成であっても良い。それによりバイザ本体に通電部材を設ける必要がなくなる。またスイッチはミラーリッドと接続させる構成であって、ミラーリッドの開き位置と閉じ位置とにより ON / OFF を切り替えられるものであっても良い。

30

40

【0034】

実施例として、ワイヤーハーネスがガーニッシュのオーバーラップ部まで延び出して電源線と接続される構成を示したが、別の実施形態として電源線がオーバーラップ部を超えてガーニッシュの上面まで延び出してワイヤーハーネスと接続される構成でも良い。

【符号の説明】

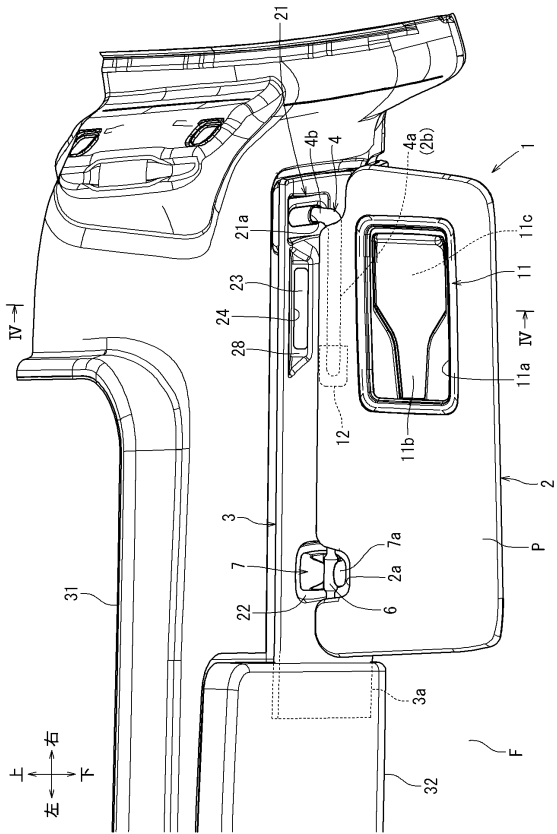
【0035】

- 1 サンバイザユニット ( 車両用サンバイザユニット )
- 2 バイザ本体

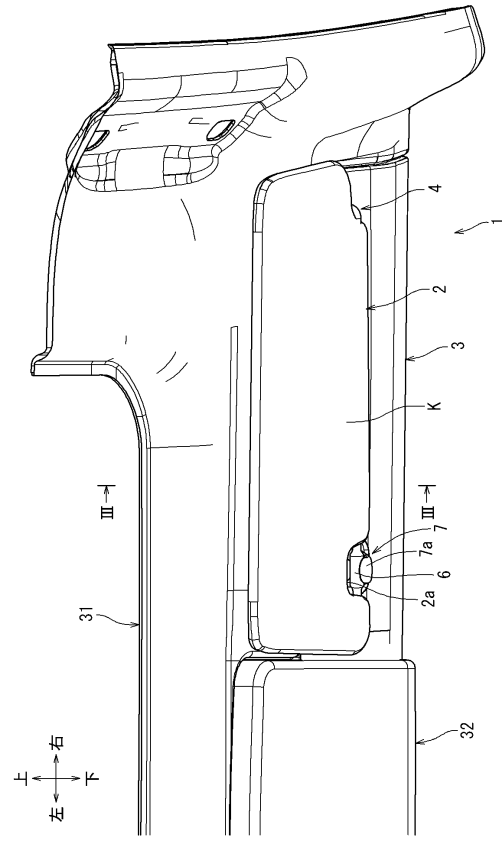
50

2 a	凹部	
2 b	差込孔	
3	ガーニッシュ	
3 a	オーバーラップ部	
4	支軸	
4 a	横軸	
4 b	縦軸	
5	ブラケット	
5 a	取付爪	
5 b	取付孔	10
6	サポート軸	
7	ホルダ	
7 a	フック	
7 b	車体取付部	
1 1	ミラーユニット	
1 1 a	ミラー枠	
1 1 b	ミラーリッド	
1 1 c	ミラー	
1 2	スイッチ	
2 1	支軸支持部	20
2 1 a	貫通孔	
2 1 b	ブラケット支持部	
2 1 c	爪	
2 2	ホルダ支持部	
2 2 a	ホルダ挿入孔	
2 2 b	爪	
2 3	照明具（電気部品）	
2 4	窓	
2 5	ワイヤーハーネス	
2 5 a	コネクタ	30
2 6	ワイヤーハーネスカバー	
2 7	車体取付部	
2 8	斜面	
3 0	車両天井	
3 1	ヘッドライニング	
3 1 a	ブラケット取付部	
3 1 b	ホルダ取付部	
3 1 c	ピン	
3 2	センターコンソール	
3 3	電源線	40
3 3 a	コネクタ	
K	格納位置	
P	使用位置	

【図面】  
【図 1】



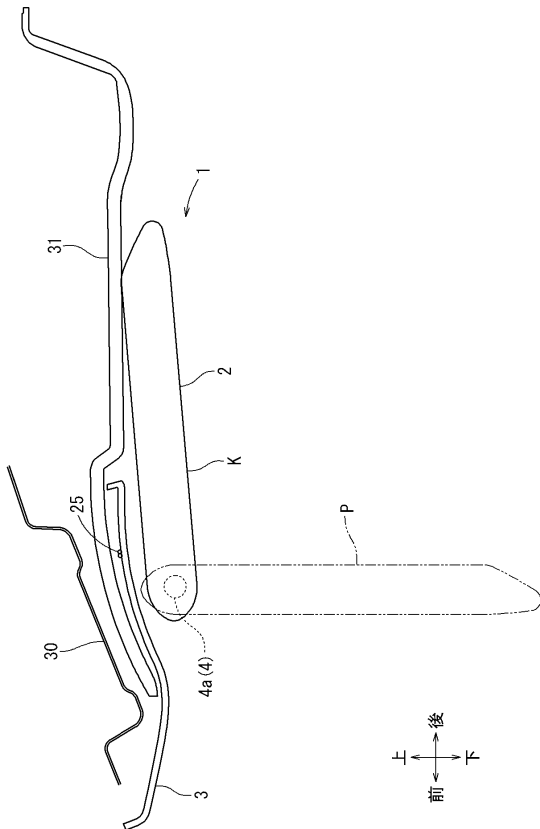
【図 2】



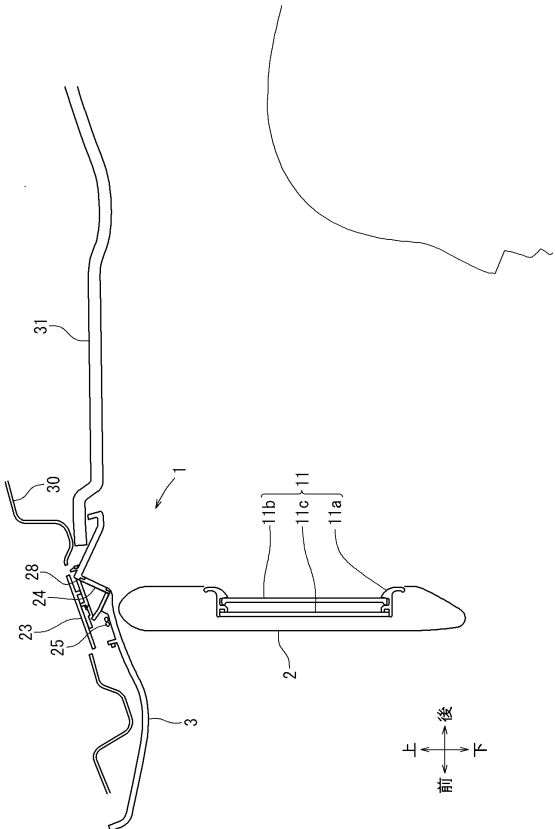
10

20

【図 3】



【図 4】

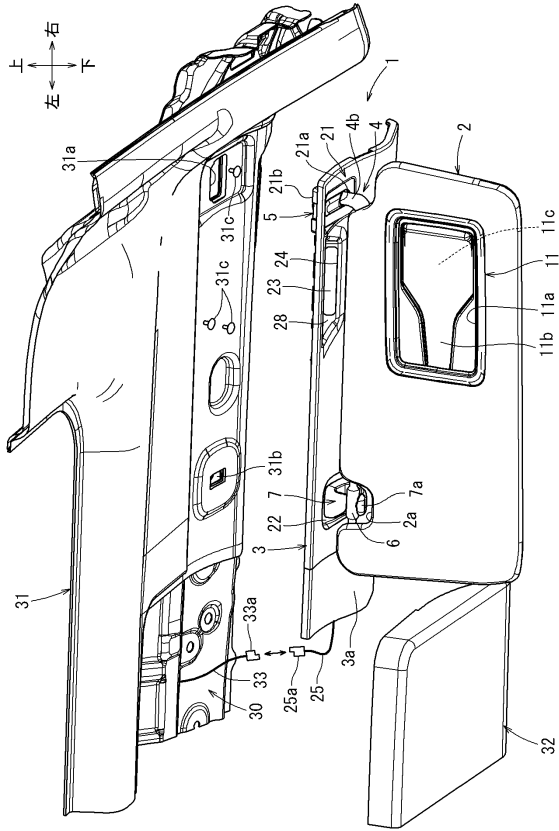


30

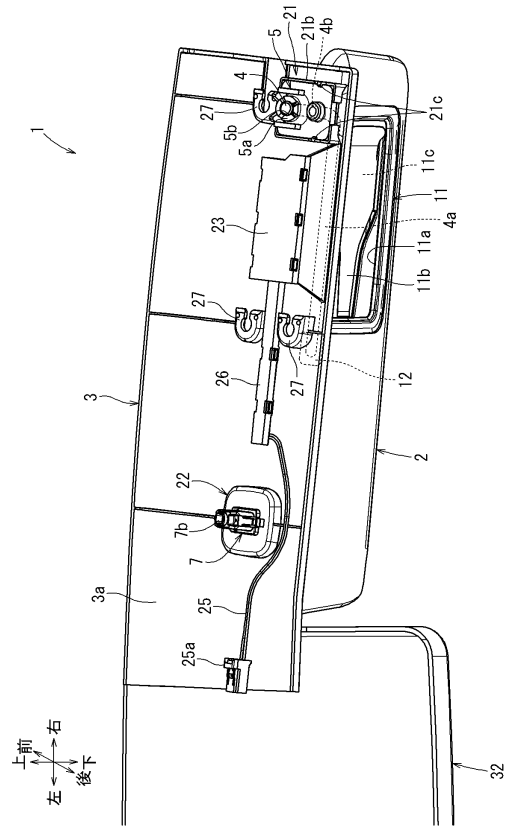
40

50

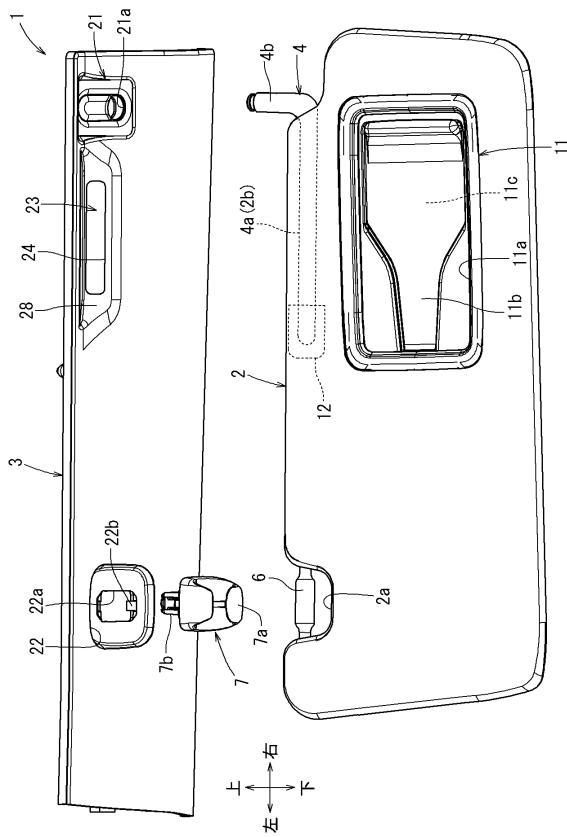
【図5】



【図6】



【図7】



10

20

30

40

50

---

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2020-179810(JP,A)  
特開平10-006880(JP,A)  
特開2019-006262(JP,A)  
実開昭62-177558(JP,U)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)  
B60J 3/02